

評価基準表

科目: 卒業研究Ⅱ

プログラム名: 保健学

【プログラム学習教育目標】

1. 生命を尊重し、豊かな人間性を備えた看護専門職としての知識・技術および態度を習得します。
2. 保健学を基盤とした看護実践能力を習得します。
3. 保健医療福祉の専門職者と連携・協働し、社会に貢献できる専門能力を習得します。
4. 社会の変化や医療の高度化、多様化に対応できる柔軟な思考力と自主性を身につけます。
5. 諸外国との学際的交流を通して、グローバルな視点での看護活動を学びます。
6. 保健学を基盤とした研究能力を習得します。

当該授業科目の達成目標	対応するプログラムの学習教育目標	URGCC学習教育目標	重みづけ (%)	F: Failure (0~59点)	D: Pass (60~69点)	C: Fair (70~79点)	B: Good (80~89点)	A: Excellent (90~100点)
研究の課題を明確にでき、研究計画書の作成ができる	看護学コース 1, 2, 4	自律性 情報リテラシー 地域・国際性 問題解決力	20	研究に対して主体的でなく、研究計画書の作成ができなかった	指導の下、不十分だったができた	指導の下、標準的にできた	指導の下、優れていた	主体的に研究に取り組み、文献を活用し、研究課題が明確な研究計画書の作成ができた
研究に関し、他者と協調、情報交換ができ、調査・問題分析を行うことができる	看護学コース 3, 5, 6	社会性 コミュニケーション・スキル 問題解決力	20	データ収集および分析ができなかった	指導の下、不十分だったができた	指導の下、標準的にできた	指導の下、優れていた	研究計画書に基づき、必要なデータ収集し、分析を主体的に行うことができた
カンファレンスに積極的に参加し、研究発表において、説得力のある主張を行うことができる	看護学コース 1, 4, 6	コミュニケーション・スキル 専門性 問題解決力	30	卒業研究発表会で発表できなかった	指導の下、不十分だったができた	指導の下、標準的にできた	指導の下、優れていた	研究発表・カンファレンスで、研究内容をわかりやすく表現するとともに、的確な質疑応答ができた
研究結果を論理的に考察し、論文作成ができる	看護学コース 1, 3, 6	自律性 情報リテラシー 問題解決力 専門性	30	論文を期日までに提出できなかった	指導の下、不十分だったができた	指導の下、標準的にできた	指導の下、優れていた	先行研究を活用し、研究結果を論理的に考察し、論文作成ができた

達成目標の1項目でもFがあれば、単位は与えない。